

幸福駅でハッピーセレモニー

「幸福駅ハッピーセレモニー」オープニングセレモニーが26日午前9時から、帯広市

幸せ祈り「ホワイトウエディング」

幸福の旧幸福駅で行われた。季節はずれの雪が舞う中、2組の夫妻がウエディング衣装に身を包み、今後の幸せを誓った。

旧幸福駅は昨年7月、旧愛国駅とともに「恋人の聖地」に認定された。同セレモニーは2002年から、夫婦やカップルなどの思い出しにでもらおうと行われ、今年で8年目。市川西町の小野寺信幸さん(29)、妙子さん(37)夫妻ら2組のカップル、関係者、友人ら約30人が出席した。

立会人の砂川敏文帯広市長は「あいにくの雪だが、これも北海道らしい『ホワイトウエディング』。この日を思い出し、パートナーとすきな日々を送って」とあいさ



降りこぎる雪の中、「幸福の鐘」を鳴らし、周囲の祝福に包まれる小野寺夫妻(26日午前9時15分ごろ、塩原真撮影)

「恋人の聖地」も門出

除幕された記念プレートの前でテープカットするくらまやさん(左)ら関係者(26日午前11時15分)



つ。両夫妻と、砂川市長が記念証にサイン。帯広観光コンベンション協会の大友俊雄会長が、花束を手渡した。2組はレッドカーペットを歩き「幸福の鐘」を鳴らし、祝福する温かい拍手に包まれた。

今年2月に入籍した小野寺さん夫妻は「結婚式を挙げていなかったが、こんなにたくさんの人に来ていただきうれしい。いい記念になりました」と笑顔で話した。今年のセレモニーは9月末まで行

愛国ふれあい広場で誕生祭

「恋人の聖地誕生祭 in 愛国ふれあい広場」が、26日午前11時から、帯広市内の旧愛国駅周辺ふれあい広場で開かれた。多くの市民らが詰め掛け、同駅の新たな門出を祝った。

市が2002年度から進めていた、同広場整備事業が昨年度で完了。この日の催しが実質的なグランドオープンとなった。

砂川敏文帯広市長、上野敏郎帯広市議会議長らがあいさつ。「幸福駅ハッピーセレモニー」に参加した小野寺信幸さん、妙子さん夫妻がばんえい競馬のミルクイ号が先導する馬車に乗って登場。小野寺さん夫妻、砂川市長、帯広観光コンベンション協会の大友俊雄会長らが駅南側に設置された「恋人の聖地認定プレート」を除幕し、「ようこそ恋人の聖地 愛国駅へ」と書かれたメッセージが現れた。愛国小児童、愛国保育所の園児も加わり、テープカットした。

帯広出身の小学生演歌歌手、くらまやさんのオンステージも行われた。(伊藤寛)